

〔函館〕

# 満開のサクラをめぐる 函館お花見ドライブ

北海道でもいち早く春が訪れる道南・函館エリアは、例年4月下旬～5月上旬がサクラの最盛期。かれんなサクラを楽しみつつ、函館の人気スポットを巡ってみよう！



## ルート略図



総走行距離／約25km  
走行時間／約40分  
※走行時間にはスポット滞在時間は含まれていません

ポカポカ陽気に心躍る春のドライブは、満開のサクラが待つ函館エリアへ。まずは道央道・大沼公園ICから国道5号、函館新道・函館ICを経由して函館市街へ向かい、昭和初期築の元商店を利用した「はこだて工芸舎」で、道内作家の陶芸品やクラフトをチェック。買物を楽しんだあとは、教会や洋館などが立ち並ぶ元町地区の「甘味茶房花かんろ」で、手作りの和スイーツを堪能しよう。続いて、函館山の麓に広がる「函館公園」では、明治期造成の歴史ある園内を埋める見事なサクラを觀賞。昼食は、はこだて自由市場内の「お食事の店 市場亭」で、名物のイカ刺しや見た目もゴージャスな海鮮丼を味わいたい。最後は幕末史の舞台となった「五稜郭公園」で、城郭を彩る美しいサクラを眺めて、札幌への帰路へ。



## 作り手の思いが伝わる 長く使える逸品ぞろい

### 1 はこだて工芸舎

道内作家の陶芸やガラス、木工品を中心に、全国各地の個人作家の作品を展示・販売。1,000点以上という商品は、日々の暮らしを豊かにする“ちょっといいモノ”ばかりだ。要予約で陶芸体験教室も開催。

函館市末広町8-8 ☎0138-22-7706  
☒10:00～18:00(11～4月は11:00～)  
☎なし ☒陶芸体験：手びねり¥3,000、ろくろ¥4,000  
☒6台(無料)

1. シラカバをくりぬいた酒器(中央右／¥7,020)や手ざわりのいい木のスプーン(中央酒器内／¥323～)など 2. 同店代表で陶芸家の堂前守人さんのマグカップ(手前右／¥5,400)や、由仁町在住、ケイト・ボムフレットのプレート(奥／¥6,900)など 3. 店舗は昭和初期築の元商店の建物を再生。2Fにはかつての応接間がそのまま残されている 4. 服飾系のアイテムも充実している 5. 電停・十字街の目の前にある



## 函館の伝統的建造物で 手作りの甘味を味わう

### 2 甘味茶房 花かんろ

1921年築の駄菓子店を改装した、風情ある甘味処。注文後に茹でる白玉のモチモチ感がたまらない「白玉クリームあんみつ」が人気だ。道産小豆のあんや寒天、みつも手作りにこだわる。

函館市元町14-6  
☎0138-22-9213  
☒9:00~17:00 ㊟不定休 ㊟2台(無料)



1. 3種類の寒天や白玉のほか、季節の果物もたっぷり入る「白玉クリームあんみつ」(¥648)
2. テーブル席は洋風のたたずまい
3. 囲炉裏のある和室の席もある
4. 函館市の伝統的建造物に指定されている和洋折衷の建物
5. モチモチの白玉と甘さ控えめのあんに、抹茶の風味がよく合う「抹茶白玉」(¥648)



## ソメイヨシノが咲き誇る 明治期造成の都市公園

### 3 函館公園

函館山の麓に広がる約4万8,000㎡の園内が、春にはソメイヨシノを中心とした約420本のサクラで彩られる。開花期間中の夜は電飾がともされ、夜ザクラ観賞を楽しむことも。園内には動物施設や遊園地もある。

函館市青柳町17 ☎0138-40-3605(函館市住宅都市施設公社)  
☒入園自由(動物施設は8:45~17:00、11~3月は~16:00)  
㊟なし  
㊟開花期間のみ開設の臨時無料駐車場を利用(台数制限あり)



1. 散策路が整備され、のんびり歩きながら花見が楽しめる
2. 1879年に市民の手によって造成された歴史ある公園。無料の動物施設では、ミニチュアホースやシマリスなどが見られる
3. 芝生が広がる中央噴水広場は、花見途中の休憩にぴったり
4. サクラ越しに函館山を望む
5. 園内には旧市立函館図書館など歴史的建物もある



## 市場が店の冷蔵庫！ 鮮度自慢の魚介を存分に

### 4 お食事の店 市場亭

市民の台所「はこだて自由市場」にある海鮮食堂。注文を受けてから市場で仕入れる鮮度抜群の魚介を、種類豊富な海鮮丼や定食で味わえる。なかでも、活イカの食感と旨味が堪能できる「イカ刺定食」は必食！

函館市新川町1-2 はこだて自由市場内 ☎0138・22・1236  
 ☒7:00～17:00 休⑧  
 ⑨50台(食事・買物利用で60分無料、以降30分ごと¥100)



1.中トロやカニなど、その日の仕入れで変わる7種ほどの魚介がのる「全部丼」(¥3,500) 2.四十数店舗が入る「はこだて自由市場」 3.市場にはおみやげにぴったりの海産加工品や鮮魚が並ぶ 4.テーブルのみの全36席 5.イカ丸ごと1パイを使う「イカ刺定食」(¥1,000)。料理の価格は漁の状況で変動あり

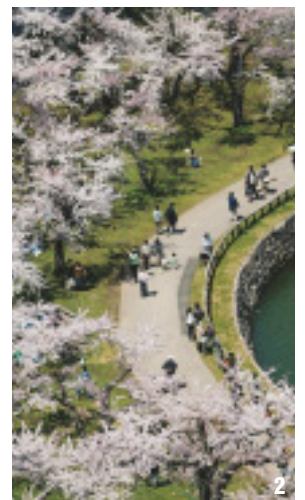


## 幕末史の舞台を彩る1,600本のサクラ

### 5 五稜郭公園

幕末の1864年に完成した西洋式城郭。園内に約1,600本のサクラが植えられ、春にはお堀や城内が淡いピンク色に染まる。隣接の五稜郭タワーからはサクラがふちどる城郭を一望できる。

函館市五稜郭町44 ☎0138・40・3605(函館市住宅都市施設公社) ☒入園自由(郭内入場は5:00～19:00、11～3月は～18:00) 休なし ⑨周辺の有料駐車場利用



1.サクラの向こうに山並みが広がる 2.お堀沿いの遊歩道 3.五稜郭タワー展望室からの眺め。展望室入場料大人¥840 ☒8:00～19:00(冬季変動あり) 休なし 4.開花中は見物客でにぎわう 5.城内には復元された箱館奉行所も。入館料一般¥500 ☒9:00～18:00(受付終了17:45、冬季変動あり) 休臨時休館あり 6.花見の期間中は夜ザクラも楽しめる

### ACCESS&MAP 札幌市街からのアクセス

札幌市街から国道12号・274号(札幌新道)などを經由し、札幌南ICより道央道上り線(函館方面)へ入る。約264km先の大沼公園ICを降り、国道5号、函館新道を經由して函館方面へ約24km。函館ICを降り、国道5号・279号を經由して約9kmで「はこだて工芸舎」へ